

# 協会だより『傷んだ的枠の有効活用』の事例紹介

平成 29 年 4 月 1 日  
宝達志水町弓道協会  
中正 直敏

最初に、「お断り」と「お願い」です！

今回、事例紹介する「傷んだ的枠の有効活用」は、電動で切断・切削を行う回転工具「電動丸ノコ」と「ディスクグラインダー」を使用するものであり、かつ、平板ではなく円形の的枠を切断・切削するという、難易度の高い・危険も伴う作業です。くれぐれも安易に考えて取り組まないで下さい。又、取り組む場合には各工具類の安全上の注意等を十分に理解し、それらを守って行って下さい。

本題：欠けたり裂けたりして傷んだ的枠の処置方法について

使用道具：「電動丸ノコ」と「ディスクグラインダー（木工用ディスク装着）」

作業手順：① 新品時の塚側となる枠の内側の面取り（ディスクグラインダー）

→破損が少ない塚側に次回の的紙を張るための事前準備

① 的紙及び切断面のテープ類剥がし

② 傷んだ的枠の反対側に的紙張り（①で面取りした枠側）

→的紙が有ると、電動丸ノコのガイドがスムーズに動き切断が容易になる。

③ 傷ついた的枠部を電動丸ノコで切断—幅 2～3cm（損傷の程度で変動）

④ 切断面内外をディスクグラインダーで面取り

外面側：切断面のささくれ取り程度

内面側：枠に中たった矢を的の内側へ導びくための大きめの面取り

両側損傷の的枠は前回(1月)に処置済みなので、今回は片側のみ損傷の的枠処置の写真です。



傷みの激しい的枠：切断前



切断・面取り後：枠幅 12cm→9.5cm

宝達志水では、的紙を表⇄裏両面に張って使っているなので、上記、①から④の手順となりますが、片面側のみに的紙を張っている場合には、①②の作業は不要となります。



使用した電動工具及び切断後の的



収納棚 上段：両側切断的など  
下段：正規4寸幅的

以下、事の成り行きをしたためますが、読み飛ばして頂いても結構です。

昨年11月の石川県弓道選手権大会か、ゆうゆうクラブ納射会の何れかの的前係の時に、傷んだ的枠の事で、どなたかと会話し「カンナで削って使っているよ」と言う事をお聞きし、欠けたり裂けたものをカンナで削るのって大変だなと言う思いが記憶に残りました。

明けて新年になり、新年射会に向けて的紙貼りが行われた際に、**的枠の両側共に破損が進み、的紙貼りが困難な的枠5~6個が廃棄の為に山積み**にされていたのを不幸にも見掛けてしまい、「電動丸ノコ」で切断したら使えないか、駄目もとで試してみようと思いつき、事の次第を説明・処分の日延べをお願いし、翌日(1月6日)に切断作業をしてみると如何せん枠の両側に欠けや裂けが有るため、丸ノコのガイドの動きが多少ギクシャクし曲り真直ぐの切断となりました。

両側を切断した的枠の幅は、4寸(12cm)から、2寸7分(≒8cm)前後となりましたが、稽古で使う分にはこれでも充分という事で、1月下旬頃から普段の稽古で使っています。 両側とも損傷した的枠を切断する場合には、的紙が有る状態で、的紙の無い側から切断すると作業が多少楽になります。

今回、新たに片側だけ損傷した枠を切断処置するにあたり、写真を撮りこの事例紹介に至りました。と言う、実に他愛のないシンプルで、危険を伴う内容です、参考になれば幸いです。

廃棄的枠が私の眼に触れずに、捨て去られていたり、減量化で潰されたりしていたら、ここへ辿りついていただろうか……、越野さん(多分)からの無言のメッセージの山積みだったのかと思っています。

最後に、取り組む場合にはくれぐれも事故のないようにお願いします。

以上